



## 職員研修会を行いました

本校では、7月23日（火）にコミュニティ・スクールに関する職員研修会を行いました。

昨年度に引き続き、文部科学省CSマイスターの鈴木廣志先生をお招きし、「学校運営協議会の役割と熟議の必要性」をテーマにご講話いただきました。

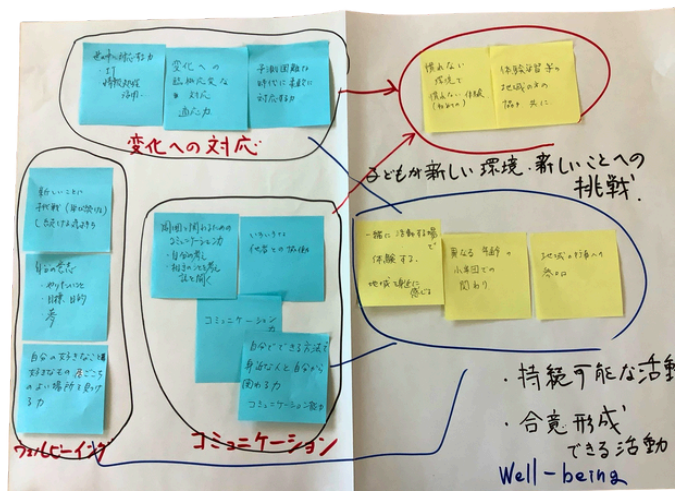
在学中に地域での居場所をつくること、卒業後の支援やセンター的機能を活かすことなど、特別支援学校における意義や、活動ありきにならず、何のために行うのかという目的を見つめることの大切さを学ぶことができました。

## グループ協議で熟議体験

また、講話後には、①「これからを生きる子ども達に必要な力とは？」②「その力を育てるために地域とともにできること」をテーマに4～5人のグループで模擬熟議を行いました。

①については人と関わる力、変化に対応する力、伝える・受容する力などが挙げられ、②については、地域に出たり学校に来てもらって、お互いを知ること、その具体的な活動の案などが挙げられました。

今回の模擬熟議を通して、一人一人が当事者意識をもち、意見を共有することができました。



## CSにおける 熟議とは？



多くの当事者による「熟慮」と「議論」を重ねながら課題解決をめざす対話のことです。

コミュニティ・スクールの活動を進めていくためには、学校・保護者・地域の皆様が共通の認識や課題をもつことが大切であり、そのための有効な手段が「熟議」です。